

大阪府新型コロナウイルス対策本部会議専門家座長 朝野 和典

【感染状況の分析】

- ・ 連休の影響もあり減少幅が大きくなっているが、それ以前のトレンドと合わせ全国的にピークアウトに入ったと判断される。
- ・ 兵庫県、京都府共にピークアウト傾向。
- ・ 大阪府もトレンドとしてピークアウトに入ったが、HER-SYS の入力遅れや、検査を受けていない陽性者（無料検査場での陽性率 14%！）の存在のため、正確な判断は困難。
- ・ 検査を受けていない感染者も考慮すれば、感染者数は季節性インフルエンザ並みの感染者数（薬局サーベイランスによる推定感染者数ではピーク時に 2～3 万人/日程度）となっている。
- ・ 検査陽性者に占める高齢者の割合が増加傾向となり、100 歳以上の感染者が毎日報告されていることから施設内感染が危機的状態となっている。
- ・ 重症病床は 60 歳以上の患者数と相関することから、ピークアウトに入れば、しばらく増加しつつも、減少に転じると予想する。
- ・ オミクロン株 BA2 は、大阪では未だ分離頻度が低く、増加の傾向になっていない。

【対応について】

- ・ 状況は二局化しているため分けて考える必要がある。オミクロン株は若年層にとっては、軽症で推移する季節性インフルエンザ並みの感染症であり、高齢者や基礎疾患のある人にとっては、季節性インフルエンザよりも重症化しやすい感染症である。小児にとっては、インフルエンザ脳症の発症がないため、インフルエンザの方が重症化率が高いと言える。（☞インフルエンザに関して全数で調査してあるのは 2009 年の豚インフルエンザのデータがあり、それとの比較。添付図参照）
- ・ 大阪府の資料からも示されているように、高齢者をいかに重症化、死亡から守るかが最優先の課題である。まん延防止等重点措置の延長や緊急事態宣言を新たに発出することで社会の人流の抑制は、間接的に有効かもしれないが、優先すべきはより焦点を絞った直接的に高齢者を守るための資料 1-4 の対策の実施と考える。
 - ① 資料 1-2 の 18 ページから、ブースター接種はオミクロン株にも有効であり、65 歳以上あるいは死亡者が多い 70 歳以上に優先的に迅速にブースター接種を遂行する。施設職員、および入所者は、施設往診医療機関などに接種を委託して、短時間（ブースター接種後の抗体価上昇は速やかなため、できれば今月中）に 3 回目接種を完了する。
 - ② 阪大では、高齢者施設や感染管理の専門家のいない病院でクラスターが発生した場合には、吹田保健所管内の地域連携の一環として感染管理の専門家チーム（近隣の大学病院、基幹病院のインフェクションコントロールチーム（ICT）など）を派遣

し、ゾーニング、隔離の支援・指導を行う仕組みを作っていた。保健所がひっ迫している状況では、地域の感染管理の連携を利用して感染対策を進めることが重要*。

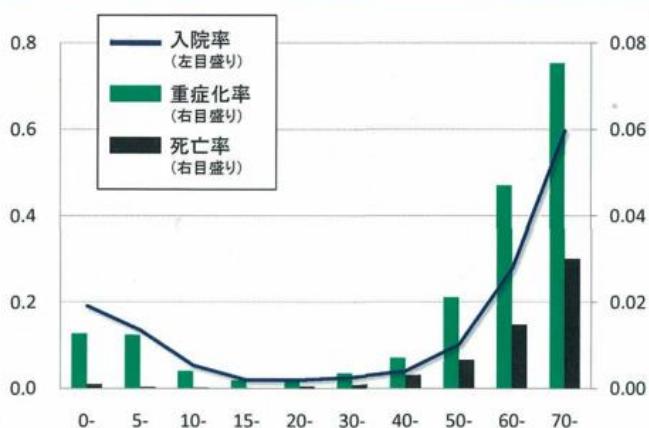
*感染防止対策加算1を取得している病院には地域連携加算が入っており、そこを中心として保健所と連携して、感染制御の支援を行うことが可能。

- ③ 診療型宿泊療養の活用をもっと促進する（利用率70%を目標）。医療法上の医療施設という定義ではなく、大阪府として病床相当と定義、たとえば“みなし病床”などとして、診療型療養を重症度に応じて柔軟な運用で病床のひっ迫を軽減する。
- ④ 今後も、感染力のより強い変異株が来れば、第6波以上の流行が起こるため、現在の対策としての対策と同時に、次に備えた準備が必要
 - ・ 軽症・中等症病床では、運用病床以外の病床が利用されているように、クラスターが発生した医療機関は、実質的に専用病棟化して対応せざるを得なくなっている。米国の報道では COVID-19 の入院患者の半数はコロナ感染以外で入院した患者である。もはや規模の大小にかかわらずすべての病院が COVID-19 診療を可能とする体制を整備し、必要時には COVID-19 患者専用の病棟（10%程度の病床）を設置できるよう準備するという方針を病院協会と協議する。
 - ・ 医師会と協議し、保健所のひっ迫を解消し、有症状者へのアプローチを効率化するために、医療機関での HER-SYS 入力を徹底する。（≒2月9日厚生労働省通知）
 - ・ 医師会と協議し、ファーストタッチ、治療、健康観察を地域医療で担い、保健所は患者搬送決定や自宅療養者へのパルスオキシメーターの配布、濃厚接触者の追跡などの公衆衛生業務に集中できる環境の整備を行う。

参考：

2009年豚インフルエンザ流行時の日本における病原性

年齢階級別入院率、重症化率及び死亡率
(推定受診者100人当たり)



平成21年8月3日から平成22年3月16日の報告まで / 厚生労働省

15